



東京海上日動システムズ株式会社

To Be a Good Company

システムズ生活の振り返り ～感謝の意をこめて～ *- To Be a Good Person -*

2015年9月16日

GRG支援部 稲葉裕一

CHANGE！～ GRCへの変革

守りの内部統制・リスク管理から、攻めのGRCへ、
みんなで変革してきました。

そして、システムズが世界に誇る
「GRC態勢」を構築できました。

皆様のおかげです！ありがとうございます。

GRCAへの道のり

2011

2012

2013

2014

△ 澤田EO、稻葉B着任
7月

内部統制基本方針の見直し

12月

△ コンプライアンス・リスク管理部から
GRCA支援部へ組織名称変更
6月

内部統制からGRCAへ
リスク管理体系見直し

3月

モニタリング態勢の確立

5月

委員会体系の見直し
継続的改善の仕組み

9月

△ : イベント

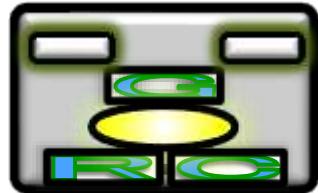
▲ : 取締役会決議

内部統制基本方針体系見直し

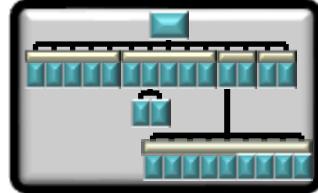
▲ ITサービス業務新設とリスク管理体系見直し
▲ 業務運営基準(モニタリング基準)策定

▲ GRC委員会設立
定着に向けた取り組み
コミュニケーション活動

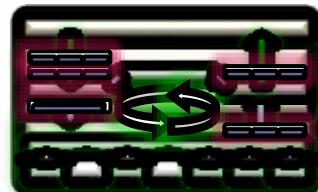
作り上げたもの



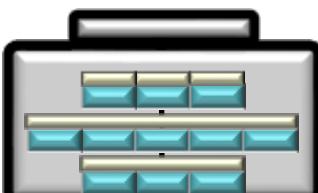
(1) GRC態勢の概念



(2) 内部統制・リスク管理態勢



(3) GRCのプロセス(モニタリング態勢)



(4) GRC委員会

(1) 概念

経営理念

コーポレートメッセージ

経営ビジョン

ITでグローバルに東京海上グループを支える
Good Company=光り輝くシステムズ

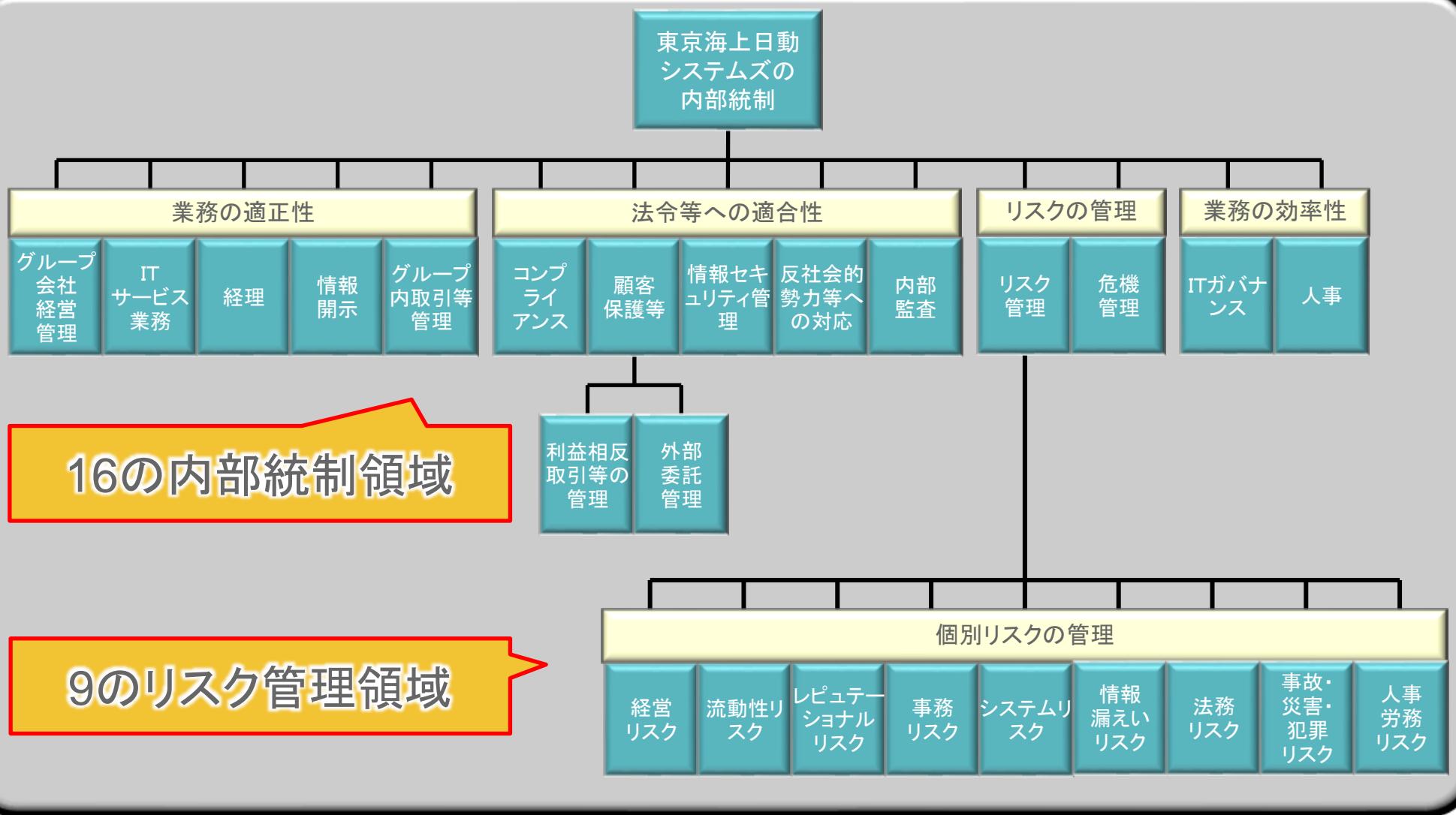
ガバナンス
(価値の創出)

東京海上グループ
内部統制フレームワーク
(統合的対応)

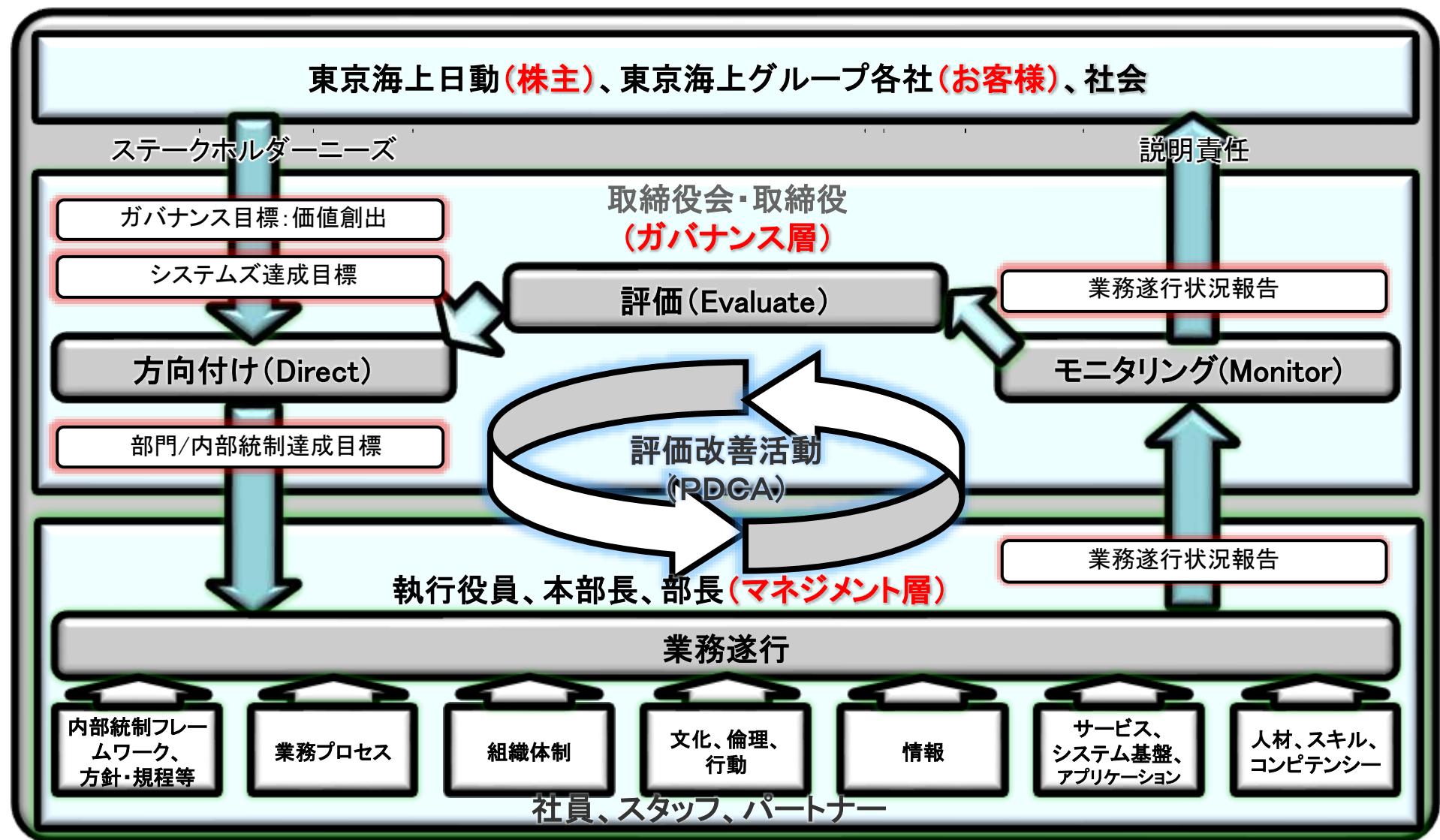
リスク管理
(リスクの最適化)

コンプライアンス
(社会の期待に応える)

(2) 内部統制とリスク管理

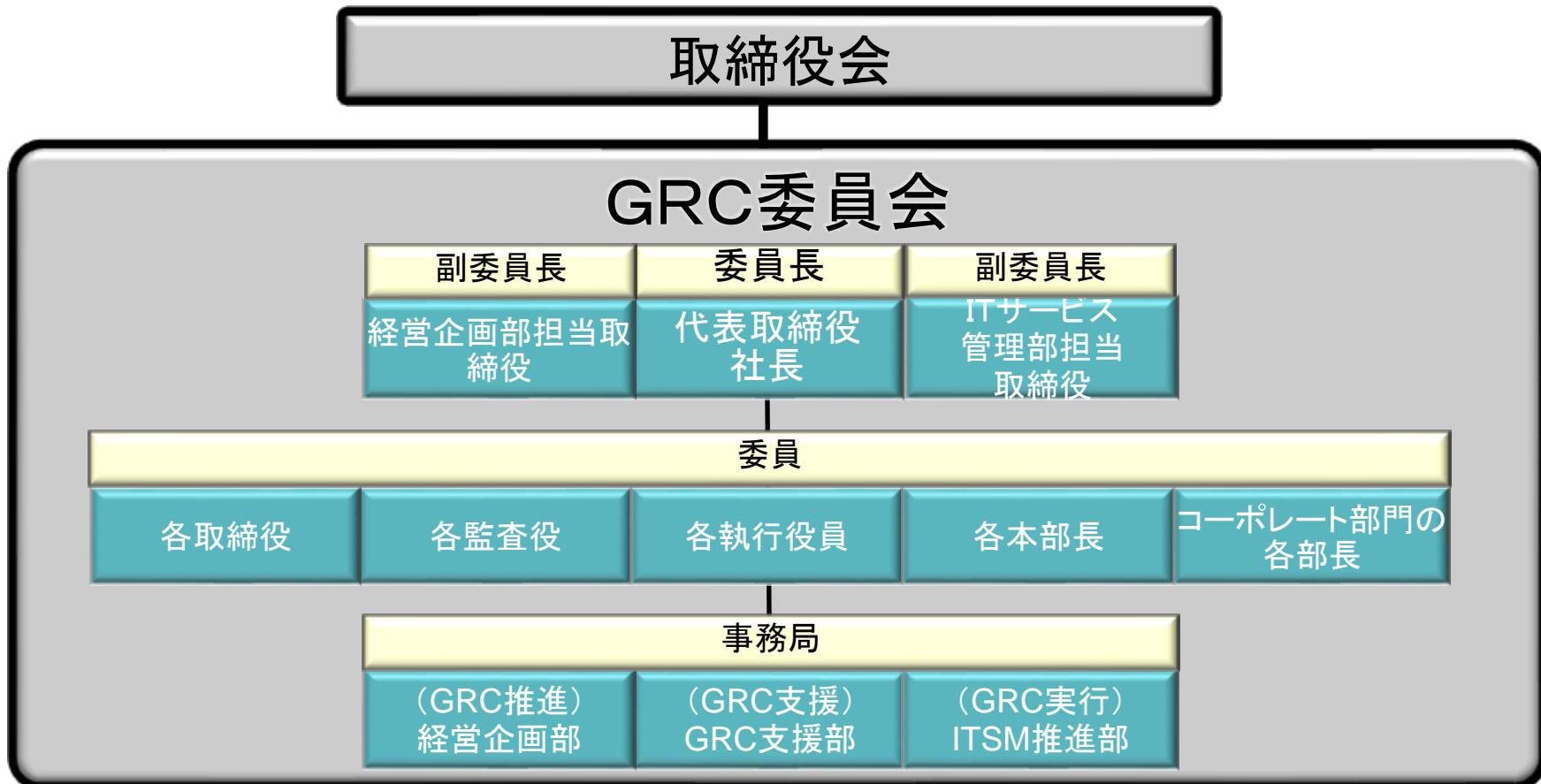


(3) GRCのプロセス



(4) GRC委員会

- ✓ GRCに関する論議の場を設置（GRG委員会）
- ✓ 旧3委員会（情報セキュリティ、コンプライアンス、危機管理）を統廃合



このGRC態勢の下、内部統制、リスク管理にしっかり向き合ってきました

- ・社員がいきいきとスピード感をもって業務を推進できるよう、プリンシップルベースの情報セキュリティルールに変革し、日本CISO協会のCISO賞を受賞しました
- ・大きなリスクにしっかり対応し、細かいリスクは受容するよな、リスク最適化のIDモニタリング態勢にしてきました
- ・また、IDモニタリング業務を正確に効率的・効果的に運用し、セキュリティ事案を発生させなかつた…ちょっと地味だけど凄いこと！
- ・その他、各内部統制・リスク管理の領域について、研修、点検、訓練等、数々の素晴らしい成果を残してきました。

皆様の熱意あふれる努力の結果であり、我々の誇りです！

いきいきと楽しく仕事をしよう

GRG支援部での仕事は私自身とても楽しくできました
皆様の熱い想い、暖かいサポートのおかげだと思います
若いころは、つらいことが多かったけれど、定年間近になつて、初めて、仕事を楽しむことができたと感じています
楽しく仕事ができたのはなぜか？私なりの結論を皆様と共有させていただきます
参考にしていただければ幸いです
(批判的精神をお忘れなく……)

① 課題を見つけにいこう

我々は「価値」を産み出しているか自問自答しよう

- ・やっていること自体が目的となっていないかチェック
- ・やっていること、やろうとしていることは「なぜ」「何のため」？
- ・健全な批判的精神を持とう
(相手を尊敬し、嫌われないように注意して)
- ・上司や先輩のいうことは「絶対」と考えない、思考停止しない、自分の問題として考えよう
- ・去年と同じだから今年も同じにやる、という思考はやめよう
- ・プリンシブルベースで物事を考えよう

① 課題を見つけにいこう

おかしいと思ったことは「おかしい」、わからないと思ったことは「わからない」と声を出して言おう

- ・守られていない、守られないルールがある
- ・これって、ちょっとヤバいのでは？
- ・そもそもやっていることは誰（ステークホルダー）のため？
- ・それって、ステークホルダーが望んでいること？
- ・伝え聞くニーズは本当？伝言ゲームになっていない？
- ・世間で話題の新しい法律等に、わが社は大丈夫？
- ・「誰々が言っているから」ではなく、「自分はこう考えるので」

② 解決策を考えよう

解決につなげる「取り組み」を計画しよう

- ・目標はステークホルダーへの「価値創出」
- ・効果を実現しよう(ステークホルダーに喜ばれる)
- ・リスクを最適化しよう(時にはリスクを取って新しいことにチャレンジすることを厭わない)
- ・資源を最適化しよう(コスト対効果に優れた方法を模索する)
- ・目標を実現する「取り組み」を具体的に計画しよう
- ・「手段」を「目的化」するのはやめよう

③ 実行しよう

- ・上司やチーム員、関係者と目標を共有しよう
- ・目標に向かって情熱を、「松岡修造」になろう
- ・言われることを待つのではなく、自ら考え行動しよう
- ・リスクにしっかりと向き合おう、リスクが発現した場合の損失を自分のこととして真剣に考えよう
- ・逆にリスクを恐れ過ぎて、価値創出機会を逃していないか？
- ・ステークホルダーニーズに、自分がやりたいことを見出そう
- ・よき理解者（スポンサー）をみつけよう
- ・言うべきことは言う。だけど、相手の立場になって考え、思いやりの心も大事

④ わが身を振り返りしよう

- ・数値を使って行動や成果を見る化しよう
- ・月例報告に積極的に載せよう、自分の価値創出の足跡を残そう
- ・社内の反応から方向性を修正しよう
- ・必要に応じ社外へ発信し、社外の反応をうかがおう
- ・細かいことでも重要と考えたら、どんどんエスカレーションしよう

閑話休題

偉そうなことを言ってしまいしました

申し訳ありません m(_ _)m

固いことはここまでにして…

まったくの自己チューですみませんが、(^^)::

稻葉の会社生活を振り返ってみました

1992年、TMMニューヨークにて
システムズの大先輩とTMMのITガバナンスに携わりました





1999年、来日中のマイクロソフト・ビルゲーツ会長と
ITのダウンサイ징について語り合い(?)ました。

2009年、ブラジル東京海上(TMSR)で、システムズの仲間と一緒に、基幹システム再構築プロジェクトに参画しました。今では、ITを武器にブラジル保険市場で急成長しています。



2011年、システムズに着任し、GRC態勢の構築を始めました

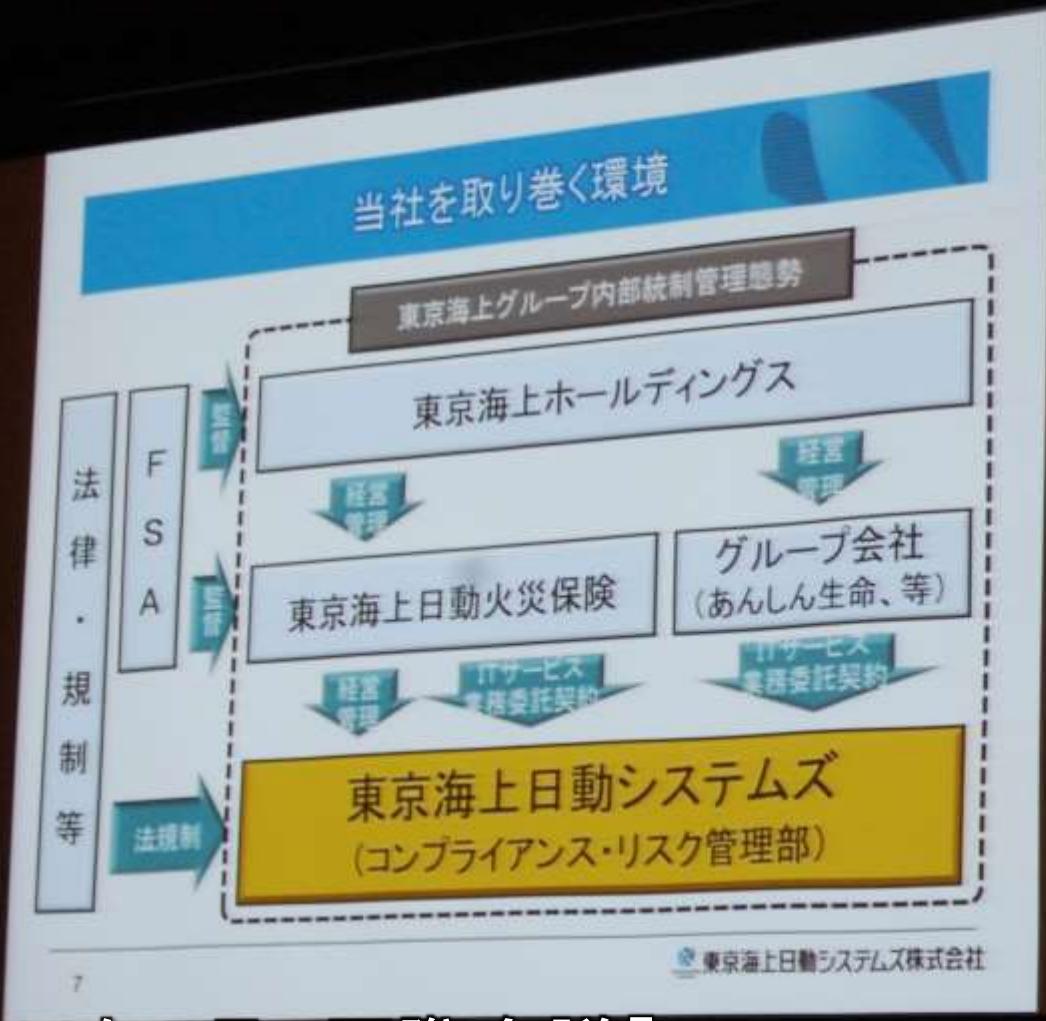




2012年、COBIT 5との出会い（サンフランシスコ）



2013年、COBIT 5の進化を体感（ベルリン、フルシャワ）



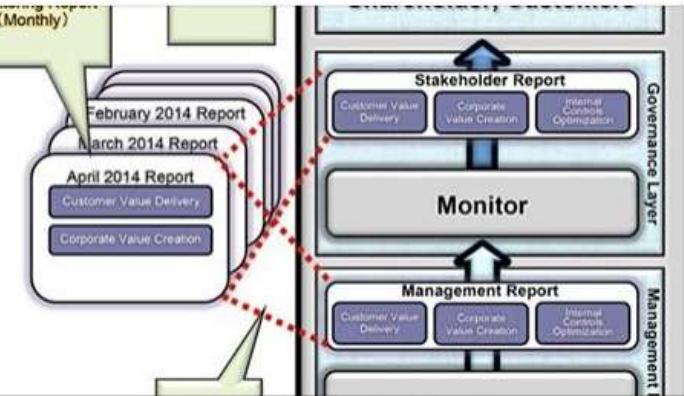
2014年5月、国際会議「Asia Pacific CACS/ISRM 2014」にて、システムズのGRC態勢が国際デビューしました（同時通訳付きで英語版資料も配布しました）

2014年11月には論文をISACA国際サイトに投稿

稻葉 裕一
2014年11月25日 - 開始

我が社のGRC態勢、世界デビュー。名前の下のJapaneseをクリックすれば日本語版も。

We are proud of Tokio Marine's GRC system by using COBIT 5.



Creating Value With COBIT 5 at a Tokio Marine Group Company

Tokio Marine & Nichido Systems (TMN Systems) recently implemented a governance, risk and compliance (GRC) system based on COBIT 5, which enables the...

ISACA.ORG

いいね！ コメント シェア

Norihiko Hanadaさん、Terry Grafenstineさん、神橋 基博さん、他24人が「いいね！」と言っています。

稻葉 裕一 日本語版の図表中の文字が一部消えている問題がありました。事務局に修正を依頼しましたので、正しい日本語版はしばらくお待ちください。
2014年11月25日 20:42 · いいね！ - □ 3

稻葉 裕一 日本語版が直りました。(^o^)/
2014年11月30日 23:01 · いいね！ - □ 2

Jo Stewart-Rattray Great work Rich!
2014年12月1日 16:21 · いいね！を取り消す - □ 1

稻葉 裕一 Thanks, Jo. Without your support, this would not happen.
2014年12月1日 17:31 · いいね！ - □ 1

Feedback Shopping Cart Renew Join ISACA Sign In ENGLISH

ISACA®

Trust in, and value from, information systems

ISACA My ISACA Site Content SEARCH Advanced Search

ABOUT MEMBERSHIP CERTIFICATION EDUCATION COBIT KNOWLEDGE CENTER JOURNAL BOOKSTORE

CSX CYBERSECURITY NEXUS Insights and resources for the cybersecurity professional from ISACA. Learn More

ISACA > COBIT > COBIT Focus > Creating Value With COBIT 5 at a Tokio Marine Group Company share f t in g+ e-mail

Creating Value With COBIT 5 at a Tokio Marine Group Company

By Yuichi (Rich) Inaba, CISA COBIT Focus | 24 November 2014 Japanese

Tokio Marine & Nichido Systems (TMN Systems) recently implemented a governance, risk and compliance (GRC) system based on COBIT 5, which enables the organization to create significant value for its stakeholders as well as optimize risk and resources for value creation. The COBIT evolution to the concept of "governance and management of enterprise IT (GEIT)" made TMN Systems move toward COBIT 5 for guidance.

TMN Systems is an IT services company for Tokio Marine Group, which is a global corporate group engaged in a wide variety of insurance businesses. TMN Systems was established in 1983 and has approximately 1,400 employees. The key Tokio Marine Group companies to which TMN Systems provides IT services are Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd., a property and casualty insurance company; and Tokio Marine & Nichido Life Insurance Co., Ltd., a life insurance company. Tokio Marine Group is one of the largest and most prestigious insurance companies in Japan. The scope of the IT services provided by TMN Systems includes systems development as well as systems operation for the group insurance companies. TMN Systems also supports a part of systems planning and monitoring for those organizations.

A GRC System for Value Creation

TMN Systems was faced with various risk and compliance response needs. In the past, the focus of the executive management had been on reactive risk management and compliance. Executives felt that it was easy to respond to risk and compliance needs in order to comply with the IT service agreement as well as laws and regulations of Japan, but that approach created uncertainty among some stakeholders about the company's future.

Meanwhile, Tokio Marine Group's IT governance system, implemented by Tokio Marine Holdings,¹ recommended that the group companies establish equal partnership relations between business and IT, sharing proper roles and responsibilities. The result is the Application Owner System, which the company believes contributes to value creation for its stakeholders.

¹ In addition, COBIT evolved to a governance and management of enterprise IT (GEIT) approach with COBIT 5.²

Subscribe to Newsletter
View Archives
Submit an Article
Read More Case Studies
Join the Conversation
More About COBIT 5
Back to Focus Home

ちょっとプライベートに…

「そんなの聞きたくない」という方
もいらっしゃるとは思いますが、
しゃべりたいのではしばし我慢ください。

2007年、2009年、2012年と
東京マラソンに出場し、すべて完走しました





2014年、夢にまでみていた
ホノルルマラソンに参加しました



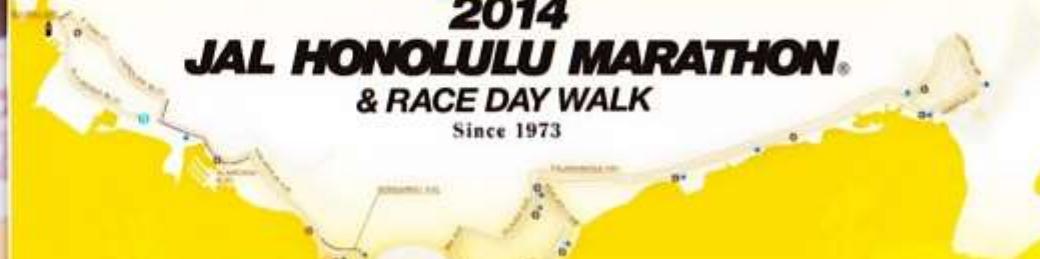
JAL

25660

2014 HONOLULU MARATHON



2014
JAL HONOLULU MARATHON®
& RACE DAY WALK
Since 1973



還暦間際の激走、1790位！

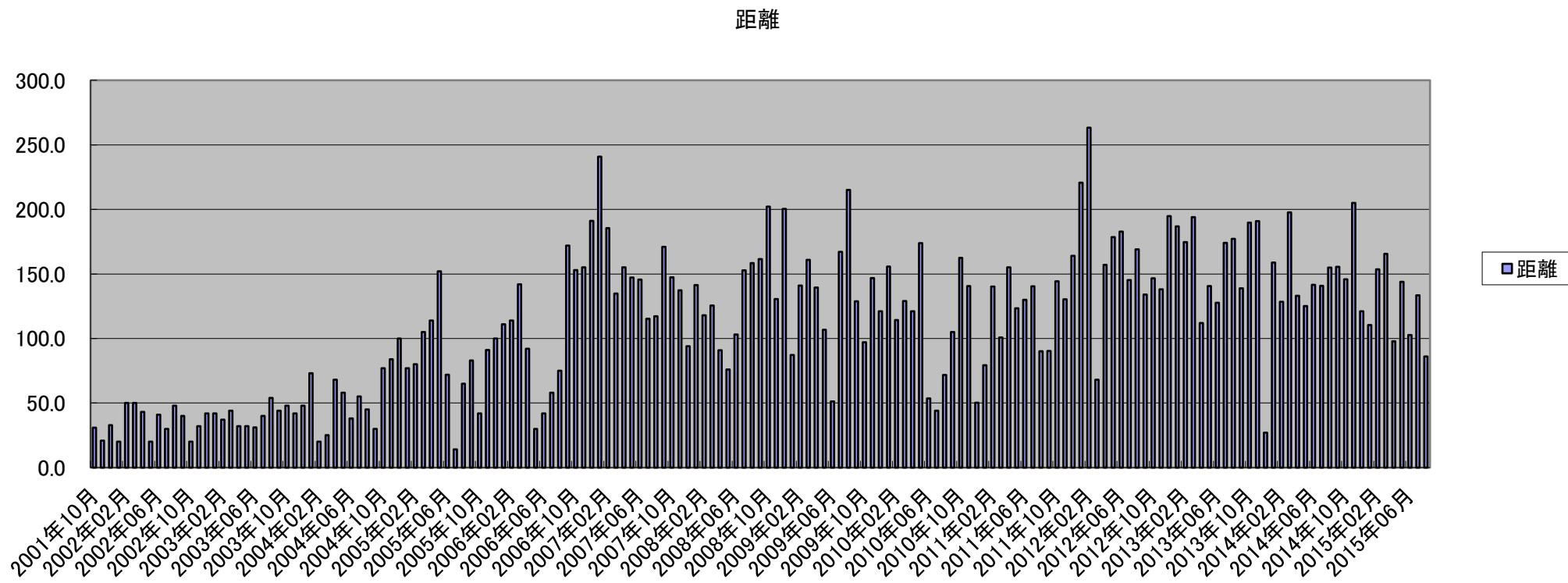


4:07:06



体が資本と…

40代半ばから始めたマラソン人生、
まだまだ渾垂れ小僧、がんばり続けます



最後に…

遂に卒業の時がきました

1989年

東京海上に

情報システム部に所属。

現在はGRG会員部 兼 経営企
に所属

稻葉は、これにてシステムズを卒業させていただきます
これからは、社外から「光り輝くシステムズ」を
応援させていただきます



日東 裕一-SXP



皆様、長い間、本当にありがとうございました
今後とも、おつきあいのほど
どうぞよろしくお願ひ申しあげます

**システムズ の GRC は
永遠 に 不滅 です !**

To Be a Good Company